



# 一 漢字と国語の知識

公立高校入試過去問題集

## (1) 漢字の知識

1 漢字の読み書きV書きとり 次のアからエまでの——線のひらがなを漢字で書きなさい。(丁寧)に漢字だけを書くこと。(山梨県)

- ア 新しいニュースがはいしんされる。( )
- イ めんみつな計画を立てる。( )
- ウ 年賀状がとどく。( )
- エ かるたのふだを並べる。( )

2 漢字の読み書きV書きとり 次の1～4の各文の——線の部分を漢字で書きなさい。ただし、必要なものには送り仮名を付けること。(愛媛県)

- 1 電車がけいてきを鳴らす。( )
- 2 はちくの勢いで、試合を勝ち進む。( )
- 3 毛糸でマフラーをあむ。( )
- 4 本の表紙がそる。( )

3 漢字の読み書きV書きとり 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書きなさい。(高知県)

- 1 役者のエンジユクした演技を味わう。( )
- 2 信頼関係をキズく。( )

4 漢字の読み書きV書きとり 次の①から⑤までの文中の——線部のカタカナを漢字に直して書きなさい。(滋賀県)

- ① 店舗をカクチョウする。( )
- ② 彼女の努力には舌をマク。( )
- ③ 友人を家にシヨウタイする。( )
- ④ 食後にお皿をアラう。( )
- ⑤ 偉大なコウセキを残す。( )

5 漢字の読み書きV書きとり 次の1～5について、——線をつけたカタカナの部分に当てはまる漢字を書きなさい。(新潟県)

- 1 水をコマかく砕く。( )
- 2 実験をココロみる。( )
- 3 友人の意見にキヨウメイする。( )
- 4 生徒総会にギアンを提出する。( )
- 5 仕上げのダンカイに入る。( )

6 漢字の読み書きV書きとり 次のアからオまでの——線のひらがなを漢字で書きなさい。(丁寧)に漢字だけを書くこと。(山梨県)

- ア じゅんじょよく並べる。( )
- イ 入選のろうほうが届く。( )
- ウ 人口のすいいをグラフにまとめる。( )
- エ スポットライトで舞台をてらす。( )
- オ たわらに米を入れる。( )

## 二 文法

公立高校入試過去問題集

7  
4

### 文法・敬語▽文法

次の文の——の部分について、品詞を正しく説明

しているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

(岡山県)

傘を持っていなかったので、突然の雨に降られて弱った。

ア 動詞に助詞がついたもの

イ 動詞に助動詞がついたもの

ウ 形容詞に助詞がついたもの

エ 形容詞に助動詞がついたもの

5  
1

### 文法・敬語▽文法

次の文と、文節の数が同じ文を、あとのア～エか

ら一つ選び、その符号を書きなさい。( ) (新潟県)

休日に図書館で本を借りる。

ア 虫の音に秋の気配を感じる。

イ こまやかな配慮に感謝する。

ウ あの山の向こうに海がある。

エ 風が入るように窓を開ける。

9  
2

### 文法・敬語▽文法

次の文を単語に分けたとき、最も多く使われている品詞の名称を書きなさい。( ) (埼玉県)

あきらめずに練習を続けようと思いました。

4  
3

### 文法・敬語▽文法

次の文中の——線部分と~~~~線部分の関係として最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。(新潟県)

て最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その符号を書きな

さい。( ) (新潟県)

川沿いをゆつくり歩く。

ア 主・述の関係      イ 修飾・被修飾の関係

ウ 並立の関係      エ 補助の関係

7  
4

### 文法・敬語▽文法

次の文の——の部分について、品詞を正しく説明

しているのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。

(岡山県)

傘を持っていなかったので、突然の雨に降られて弱った。

ア 動詞に助詞がついたもの

イ 動詞に助動詞がついたもの

ウ 形容詞に助詞がついたもの

エ 形容詞に助動詞がついたもの

5

### 文法・敬語▽文法

次の文について、あとの問いに答えなさい。

(鳥取県)

1 ある人が発した言葉が、今でも忘れられ

2 ない。 次のア～エの傍線部のうち、「1 ある」と同じ品詞の言葉を一つ選

び、記号で答えなさい。( )

ア かなり遠くの街まで行く。

イ 大きな絵を壁に掛ける。

ウ 新しい本が出版される。

エ きれいな星空を眺める。

5  
2

「2 ない」の品詞を、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 動詞      イ 形容詞      ウ 助詞      エ 助動詞

### 三 国語表現

公立高校入試過去問題集

#### (1) 敬語

2  
1 文法・敬語▽敬語

次は、郵便局の受付の掲示文です。この掲示文が、待つことを求める文となるように、に当てはまる表現を、「お……」という形の尊敬語を用いて書きなさい。(北海道)

順番にお呼びしますので、番号札を取って。

3  
2 文法・敬語▽敬語

次の会話は、ある中学校の文化祭で、来賓として訪れた川田さんと受付係の生徒である山中さんが話した内容の一部である。——線をつけた部分ア～オの中から、敬語の使い方が正しくないものを一つ選びなさい。(福島県)

川田さん 「こんにちは。受付はここですか。」

山中さん 「はい、こちらです。私は、受付をア担当いたします三年の山中です。恐れ入りますが、お名前をイうかがってもよろしいでしょうか。」

川田さん 「川田製作所の川田です。」

山中さん 「ようこそおいでくださいました。こちらが本日のプログラムです。どうぞウ拝見してください。控え室は、校長室です。昼食もそちらでエ召し上がってください。」

4  
3 文法・敬語▽敬語

——線部分の敬語の使い方として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その符号を書きなさい。(新潟県)

ア 姉が描いた絵を拝見してください。

イ あなたが私に申したことが重要です。

ウ 私が資料を受け取りにまいります。

エ 兄は先に料理を召し上がりました。

5  
4 文法・敬語▽敬語

次は、中学生が書いた手紙の下書きの一部である。書いての部分を敬意のある表現に書き直しなさい。(山梨県)

さて、本日は、先生にお願いがあり、お手紙を差し上げました。今、私たちは、授業で町の「歴史観光マップ」を作成しています。そこで、先生が以前、古い建造物について学級通信に書いていたことを思い出し、助言をいただきたいと考えました。

川田さん 「ありがとうございます。」

山中さん 「それでは、案内係の生徒がオおりますので、校長室までご案内します。」

3 古文V随筆

次の文章には、江戸時代の大名、板倉重宗が、京都の警備や訴訟の処理などを行う京都所司代を務めたときのこと書かれている。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(静岡県)

周防守は、父伊賀守の役儀を受け継いで、二代の譽を得たり。ある時、茶屋長古と言ふ者、伺候しけるに、「我等の事、悪し様に批判を聞き

たらば、言ひ聞かせよ。心得に成るぞ。」と申されしに、長古言はく、公事御判断の節、非分に聞こゆる方を、お叱りに成らるるゆゑ、イウろたへ候ひて、口上前後いたし、いよいよ非公事に成り候ふと取りざた仕

るよしウ言ひければ、周防守、手を打ちて、「よくこそ申したれ。なるほど役所へ出て、工決断するに、非公事と見えたる者の面体を見れば、先づ

悪しく成りて、自然と怒りを発するゆゑに、それに恐れて不弁の者は、理を言ひ解く事、能はざるべし。向後は心得たり。」とて、それより茶

うすをもうけて、これを挽きながら訴人の面を見ずに公事を聴かれける。

(神沢杜口「翁草」より)

(注) ① 板倉勝重。江戸時代初期の人。京都所司代を務めた。  
② 茶葉を挽いて粉末状にする道具。下の図参照。



1 問一 二重傍線(〓)部を、現代かなづかいで書きなさい。( )

2 問二 波線(〰)部アエの中から、その主語に当たるものが同じであるものを二つ選び、記号で答えなさい。( ) と ( )

3 問三 傍線(――)部について、周防守は、自身の発言の中でその理由を推測して述べている。周防守が述べている、傍線(――)部のよう

になる理由を、周防守の気質を含めて、簡単に書きなさい。

4 問四 次のアエの中から、本文から読み取れる、周防守の人物像について述べた文として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。( )

- ア 周囲からの評判に耳を傾け、父親から伝えられた教訓を固く守り通す人。
- イ 周囲からの評判に耳を傾け、現状を改善するための手段を取ることが出来る人。
- ウ 周囲からの評判に耳を傾けるが、任務よりも自分の趣味を優先する人。
- エ 周囲からの評判に耳を傾けるが、自分に都合が悪い話は聞き入れない人。

4 古文V枕草子

次の文章を読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。

(青森県)

(注1)をんやうじ 陰陽師のもととなる小童こそ、いみじう物は(あ)知りたれ。(注2)はらへ 祓などしに(すばらしく)